

生産性向上支援訓練カリキュラム

機構施設名： 和歌山職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社テクノ経営総合研究所

B. 組織マネジメント	組織力強化	管理者のための問題解決力向上
--------------------	--------------	-----------------------

コースのねらい	組織問題に対し、業務の問題の本質を的確に捉え、業務の問題解決を図るための手法を学び、管理者として必要となる問題解決を実行するための知識と技能を習得する。
----------------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1	組織の課題と対応策	(1) 管理者の心構え ～職場の課題とコミュニケーション～ 「企業の使命は何か」「日本の企業を取り巻く環境や課題」について学び、リーダーとして知っておくべき基本的な知識や考え方を理解するとともに、「企業の競争力」を示す指標を理解することで、企業の目指す方向を考える	2.0
			(2) 組織の成長のためには[演習あり] ～日々を円滑に進めるための組織:「チーム力」～ 日々の業務を円滑に行なうための組織に必要な要件を学ぶ。ここでは特にポイントとなる「チーム力」について演習を通じてスキルやノウハウを身につける	
			(3) 目指すべき管理者とは ～管理者の役割、フォローシップとは～ 近年注目を集めている「フォローシップ」について考える。これを理解することで、「リーダーシップ」「マネジメント」との違いを明確にし、後輩指導に対する管理者の役割を考える	
	2	問題の発見と見える化	(1) 真の問題の見つけ方[演習あり] ～問題とは何か～ 職場の現状と課題から「価値作業とムダ作業」を学び、現場で問題やムダを発見する「気づき」の重要性を理解し、問題の発見に繋げる	2.0
			(2) 業務の見える化[演習あり] ～時間分析と課題解決手法～ リーダーの信頼感構築に向けて管理の重要性や具体的な取組みについて学ぶ。見つけた課題の分析方法は「どうすればよいのか」をIEの手法から学ぶ	
			(3) 問題を潜在化させないために ～信頼関係と心理的安全性(コミュニケーション)～ 部下指導に欠かせない「コミュニケーション」であるが、「コミュニケーション」が苦手な悩みを持っている人は多い。職場内の関係構築を円滑に進める「コミュニケーション」の真髄を事例を交えて考える	
	3	問題解決に向けた取組み	(1) 問題解決ストーリー構築のために ～職場の経営を考える～ 経営視点でものごとを考えることは管理者にとっての必須事項であり、問題解決への近道でもある。管理者が身につけておくべき経営の基本を理解することで、問題解決ストーリーを構築し、経営に貢献できる管理者になる	2.0
			(2) 問題解決のための管理者の人間力向上 ～ティーチングとコーチング～ 「ティーチング」とは何か、「コーチング」とは何、を理解する。また、コーチングのあり方を「事例演習」を通して習慣的に実施できるようになり、問題解決を通じて部下の自発性を引き出せるようになる	
合計時間			6.0	

カリキュラム作成のポイント

単に知識を学ぶだけでなく、それを自分たちの職場にどのように落とし込んだらよいかという具体的な進め方を講義と演習を組みわせることによって理解を深め、「単に知っている、理解している」から「やっている、できている」と感じることができるためのカリキュラムとしています。また、グループ討議を通じて固定観念からの脱却を図り、行動指針を決定することで実践に近い形での落とし込みを図ります。

訓練に使用する機器等	備考
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
・なし	・PC(講師用): 講師が持参 ・プロジェクタ、スクリーン ・ホワイトボード ・マーカー(黒・赤) ・OS: Windows11 ・アプリケーション: Microsoft 365 Power Point
●使用するテキスト	●その他
・自作テキスト	
利用事業主に用意を求める機器等	
・プロジェクタ、スクリーン ・ホワイトボード ・マーカー(黒・赤)	・なし